

ビジネス情報管理

対象クラス	2年生 ビジネス情報科（システム開発類型）	単位数	6
使用教科書	ビジネス情報管理（実教）		
使用副教材	基本情報技術者試験 午前問題集・午後問題集（インフォテックサーブ） IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） ITワールド（インフォテックサーブ）		

「ビジネス情報管理」はこんな科目です。

経済産業省主催情報処理技術者試験の合格を目指しています。情報セキュリティマネジメントを秋に受験し、翌年度4月に基本情報技術者試験を受験します。高校生にとっては大変難しい試験ですが、1年間の学習を通して合格する力を身につけます。指導は授業時間だけでなく長期休暇中には補習もおこない合格をサポートしていきます。

科目の到達目標（目標とする検定等）

ソフトウェア開発における知識（コンピュータ科学基礎・コンピュータシステム・システム開発と運用・ネットワーク技術・データベース技術・セキュリティ・標準化）を身に付け、システム開発を行える能力を養います。コンピュータに関する基礎知識からアルゴリズム能力・データベース設計技術・ネットワーク構成技術と総括的に学習し、情報化社会で力を発揮できる総合的な力を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	講義を集中して聞いており、練習問題を意欲的に取り組んでいる。	学習態度を評価する。講義の内容をノートにまとめている。練習問題に取り組む姿勢。
思考・判断・表現	情報技術について深く考えることができ、問題に対して理解するまで取り組むことができる。	解答に導くまでの過程を評価する。問題文の重要な箇所に気づき、そこから考え判断することが出来る。アルゴリズムを1つの流れとして捉えているか。
技能	身に付けた基礎能力を活用し、応用する力がある。またアルゴリズムを構築する能力があり、プログラムを作成する力がある。	課題解決能力を評価する。プログラムやSQL文を提示された処理条件から考え出すことが出来る。
知識・理解	各分野を理解しシステム開発に活用することができる。出題される問題の内容を理解し、解くことができる。	コンピュータに関する用語を理解しており、応用する力を備えている。過去問題や模擬問題を解くことが出来る。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	1 基礎理論 2 コンピュータシステム 3 技術要素 【前期中間考査】	1. 基礎理論 2. アルゴリズムとプログラミング 3. コンピュータ構成要素 4. システム構成要素 5. ソフトウェア 6. ハードウェア 7. ヒューマンインターフェース 8. マルチメディア 9. データベース 10. ネットワーク 11. セキュリティ	コンピュータを構成する機械的なハードウェアや、コンピュータ内部で、コンピュータに仕事を命令するソフトウェア、情報をやり取りするためのネットワークについて学習し理解します。
前期末	4 開発技術 5 プロジェクトマネジメント 6 サービスマネジメント 7 システム戦略 【前期末考査】	12. システム開発技術 13. ソフトウェア開発管理技術 14. プロジェクトマネジメント 15. サービスマネジメント 16. システム監査 17. システム戦略 18. システム企画	ソフトウェアの開発行程を理解し、開発したプログラムが利用者（エンドユーザ）の要求どおりに正しく稼動しているかどうかを確認します。このような開発、運用、保守のサイクルを理解します。
後期中間	8 経営戦略 9 企業と法務 【後期中間考査】	19. 経営戦略マネジメント 20. 技術戦略マネジメント 21. ビジネスインダストリ 22. 企業活動 23. 法務	今日のIT社会を支えている情報システムを中心とした、ビジネスにおける戦略（ストラテジ）の概要について理解します。
後期末	午後問題対策 【学年末考査】	擬似言語・アルゴリズム 表計算 問題演習	4月の国家試験に向けて問題演習などを行ない、今まで学習した内容の復習をし、理解を深めます。午後問題で出題される、擬似言語について理解し、問題演習を通じて、確かな力を身に付けます。継続的に学習する機会を設け、4月受験での合格を目指します。